



那須塩原市【栃木県】 歴史文化基本構想

■策定年度：令和2年3月 ■人口：115,794人 ■市域面積：593km²
■担当課：那須塩原市委員会事務局生涯学習課（令和2年3月現在）



那須塩原市に存在する文化財を、指定・未指定に関わらず幅広く捉えて、的確に把握し、文化財をその周辺環境まで含めて、総合的に保存・活用するための構想である。文化財の持つ新たな価値を明らかにし、将来にわたり保護するとともに、その活用によるまちづくりを進めていくための基本的な方針を定めるものである。

5 歴史文化を表す つのキーワード

大扇状地、街道と鉄道、疏水と大農場、
開拓精神、温泉群と山岳信仰

課題

- ・未指定の文化財の把握と調査の継続
- ・高齢化や新規会員不足による保存と継承
- ・多様な主体による保護と積極的な活用
- ・文化財に関する分かりやすい情報発信

保存活用方針

- ・歴史文化資源の継続的な調査・研究、価値の共有
- ・多様な主体が関わる推進体制の構築
- ・学校教育との連携、生涯学習との連携

保存活用のための取り組み

継続的な調査・研究の推進

地域に眠る歴史文化資源について、継続的な調査を進め、把握に努めるとともに、指定文化財については、その価値を未来に継承していくために、定期的な調査を実施し、所有者・管理者への支援を行う。また、調査・研究の拠点として博物館の充実を図る。



歴史ストーリーと関連文化財群 を活用した情報発信

様々な媒体を活用した情報発信を行い、歴史文化資源の価値を分かりやすく伝えるとともに、目に見えない歴史文化資源の可視化を図る。また、歴史ストーリーと関連文化財群を活用し、魅力を一体的に伝え、観光振興につなげるとともに、周辺環境の整備を図る。



次世代に受け継いでいくための 推進体制の構築

歴史文化資源を次世代に受け継いでいくために、文化財の所有者、保存団体、観光関係者、自治会、コミュニティ、NPOなどが有機的に関わる持続的な推進体制を構築するとともに、関係部局の連携、市域を超えた連携により、魅力的な地域づくりを進める。



歴史文化資源を活用した 学校教育・生涯学習

児童生徒に向けて、共有の財産である歴史文化資源を分かりやすく伝えることで、歴史文化資源を支える人材を育成する。地域特有の歴史文化資源の保存・活用に関する学習機会の充実を図るとともに、若い世代や高齢者と連携し、新たな活用について検討する。



関連文化財群



那須塩原市に存在する地域特有の文化財は、市民共有の財産として守られてきた。こうした文化財を通じて、歴史的な魅力や特色を分かりやすく伝えるため、関連文化財群を総括する6つの歴史ストーリー（物語）をまとめるとともに、6つの歴史ストーリーに関連して、指定文化財などを軸にサブストーリーを構成した。

ストーリー

- ① 那須の大地と連山
～大扇状地と海の記憶～
- ② 歴史が示す那須塩原
～縄文から戦まで～
- ③ 関東と東北を結ぶ道
～街道と鉄道～
- ④ 水の恵みを求めて
～疏水と大農場～
- ⑤ 産業と民俗
～農村のくらしと文化～
- ⑥ 温泉が生み出す文化
～信仰・文学・アート～

関東地方

策定後の成果（見込まれる効果）

① 郷土への誇りと愛着
基本理念「歴史をつなぎ未来を拓き新しいまちのストーリーをみんなで作ろう」のもと、市民共有の財産である地域の歴史や貴重な文化財の再確認と価値の再認識が進み、郷土への誇りと愛着につながる。



② 社会全体で文化財を保存・活用
文化財の活用は保護あつてのものであり、多様な主体が横断的に連携し、より積極的な活用を図っていく必要がある。個々の文化財をその周辺環境と一体的に保存・活用することで、地域の魅力の向上につながり、市や文化財所有者だけではなく、社会全体として文化財を保護する機運が高まる。



③ 未指定を含めた文化財の保存
未指定ではあるものの、地域で大切にされている文化財も存在する。未指定を含めた文化財を調査し、現況等を把握することで、未指定のため保護措置が図られていなかった文化財の保存につながる。

